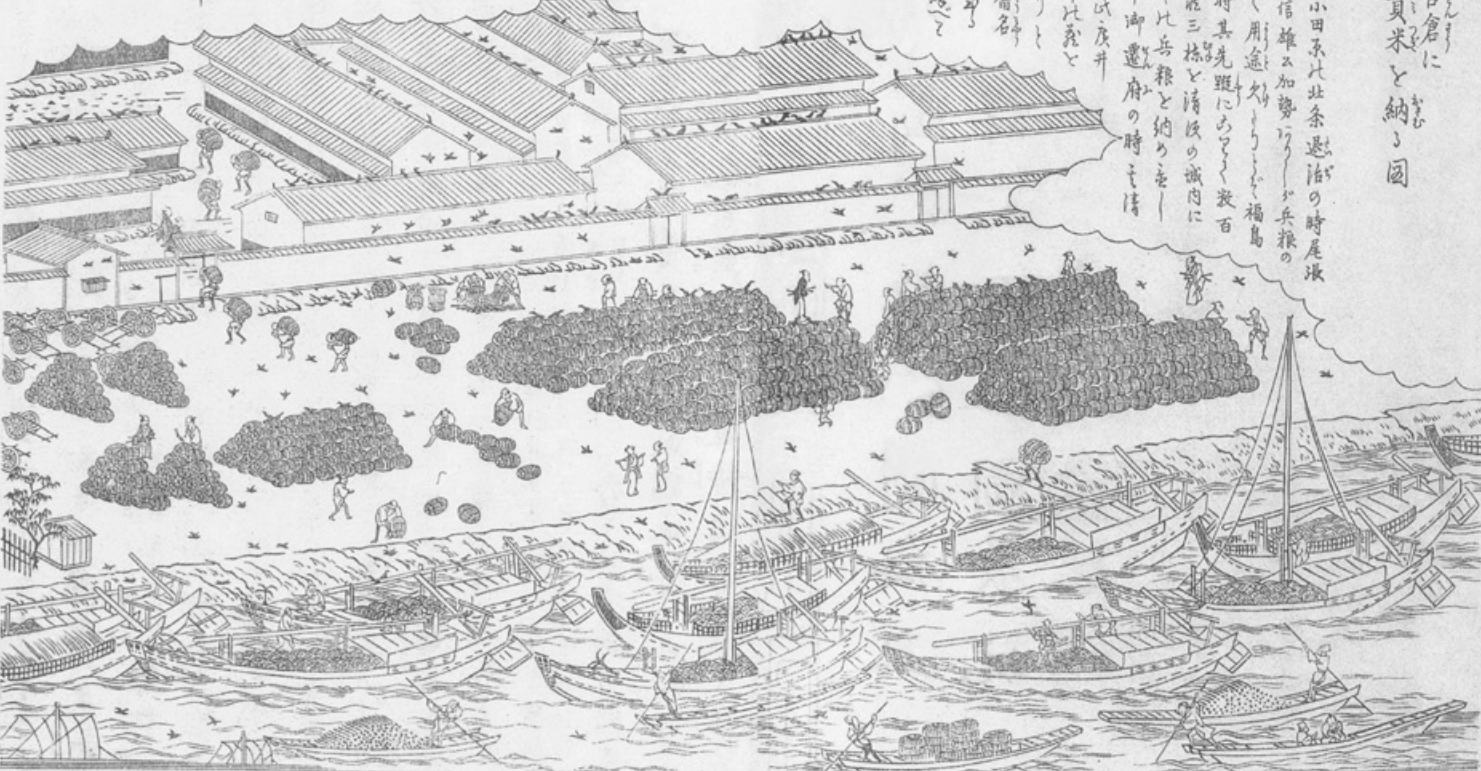


廣井官倉に
貢米と納る國

太閤秀吉公小田原北条退治の時尾張の國之儀田信雄公加勢の兵糧の貯へりて用途大なりしを福島正則公の時其先蹤にあつて數百間大うの倉三楹と清波の城内に作りて多く此兵糧と納りて一又十五年御遷府の時之清波の二倉と比度井より多く此兵糧と作りて之を貯へりしをいへりて其倉名を三つ倉と今にや

とこのころ
尾張米
池とこ
大免
氷の
あか
いひの
くちま
けし
ちし
な
輔相



第145期

中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

 東陽倉庫株式会社
TOYO LOGISTICS CO., LTD.

証券コード：9306

「もの」づくり、人の「暮らし」を支える 東陽倉庫



代表取締役社長
武藤 正春

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。ここに、東陽倉庫株式会社の第145期中間報告書をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の解除により社会経済活動の正常化が進み、個人消費の持ち直し等により景気の緩やかな回復傾向が見られました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高止まり、円安の進行による物価の上昇により、本格的な景気回復が見通しにくい状況で推移しました。海外経済は、一部で持ち直しの動きが見られるものの、世界的な金融引き締め政策の継続による景気後退の懸念や中国経済の減速など、先行きに対する不透明感が一層高まりました。

このような事業環境の中、当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

【物流事業】

倉庫事業は、保管残高が期間の前半を中心に高水準で推移したものの、貨物の取扱いは低調に推移しました。また、配送センター事業は堅調に推移しました。

港湾運送事業は、船内荷役の取扱いは前年に比べ増加したものの、輸出貨物の取扱いは世界経済の伸び悩みの影響もあり低調に推移しました。国際輸送事業は、輸送需要の縮小や運賃単価反動下落の影響を受けて低調に推移しました。

この結果、営業収益は135億9千4百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は8億6千4百万円（同2.2%減）となりました。

【不動産事業】

不動産事業は、請負工事が減少したものの、時間貸駐車場の稼働率の向上等により賃貸料収入が増加し、営業収益は3億2千3百万円（同1.8%増）、セグメント利益は1億4千3百万円（同13.8%増）となりました。

これらの結果、当期間における当社グループの連結営業収益は139億1千7百万円（同1.4%減）、連結経常利益は9億7千6百万円（同3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5千1百万円（同9.1%増）となりました。

なお、当社グループは2023年10月26日付で、当期の通期連結業績予想について発表し、連結経常利益は16億円から17億5千万円に、親会社株主に帰属する当期純利益は11億5千万円から13億円に、本年5月11日公表の予想からそれぞれ上方修正しました。

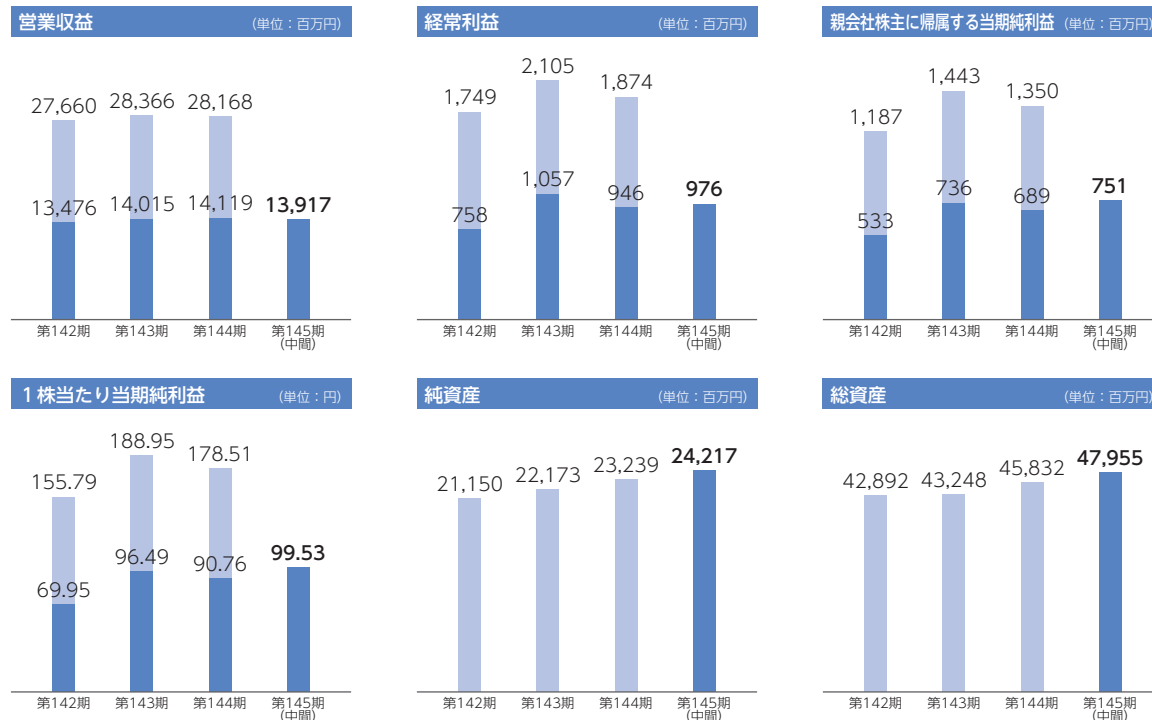
また、当期の配当金については、中間配当は1株当たり前期から50銭増配し、5円50銭としました。期末配当予想は1株あたり前期から2円50銭増配し、27円50銭（2023年10月1日付株式併合を反映後）としました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

連結財務ハイライト

■ 通期 ■ 中間



(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中の平均発行済株式総数により算出しております。なお、期中の平均発行済株式総数は、自己株式数を控除した株式数を用いております。

2. 「収益認識に関する会計基準」等を第143期の期首から適用しております。

3. 当社は、2023年10月31日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。

このため、第142期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

株主優待制度の導入のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的とし、株主優待制度を導入いたしました。

- 対象となる株主様
毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式500株（5単元）以上を保有し、かつ、継続保有期間1年以上（※）の株主様
- 株主優待の内容
- 贈呈時期
毎年6月開催の定時株主総会招集ご通知に同封してご送付
- 開始時期
2024年6月

※毎年3月31日および9月30日を基準日とする株主名簿に同一株主番号で連続して3回以上記載または記録された株主様といたします。

保有株式数	優待の内容
500株以上1,000株未満	ギフト券2,000円相当
1,000株以上	ギフト券5,000円相当

会社概要

商号：東陽倉庫株式会社 (TOYO LOGISTICS CO.,LTD.)
所在地：名古屋市中村区名駅南二丁目6番17号
創業：1893年（明治26年）10月1日
設立：1926年（大正15年）3月13日
資本金：3,412百万円
事業：物流事業・不動産事業

グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC.(米国)
	東誉（上海）国際貨運代理有限公司（中国）
	TOYO LOGISTICS (S) PTE.LTD.(シンガポール)
	TOYO LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
TOYO SOKO (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)	

株式の状況 (2023年9月末日現在)

発行済株式の総数：39,324,953株
(自己株式1,386,378株を含む)
株主数：7,274名

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
定時株主総会：6月下旬
単元株式数：100株
公告の方法：当社ホームページ
(<http://www.toyo-logistics.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先：〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
特別口座管理機関：〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
上場市場：東京証券取引所（スタンダード市場）
名古屋証券取引所（プレミアム市場）